



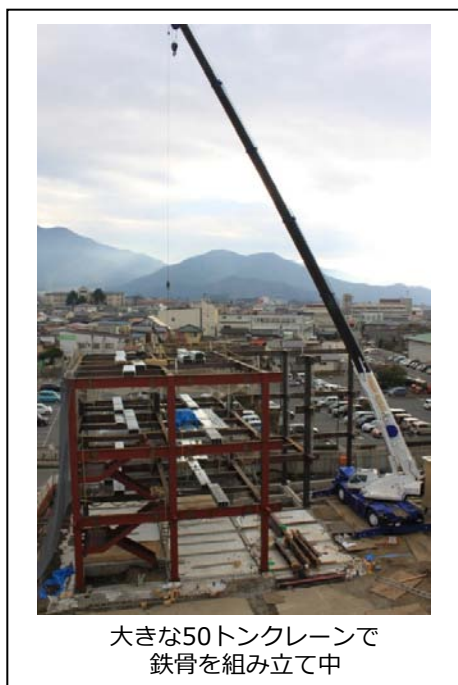
基礎部分の埋め戻しが終わりました

前回の新棟建設ニュースでは、新棟の基礎部分へのコンクリートの打設（流し込み）が行われていることのお知らせしましたが、今月は、打設の終了した基礎部分に何台ものダンプカーによって土が搬入され、埋め戻しが行われました。



ダンプカーによる基礎埋め戻しのための土搬入

いよいよ建物の組み立てが始まりました！



大きな50トンクレーンで鉄骨を組み立て中

上記のとおり、基礎部分の工事が完了し、12月中旬からいよいよ建物の組み立てが始まりました。

まず、大きな鉄骨を縦に吊り上げて、建物の枠となる部分の組み立てが始まりました。

今までも大きな25トンクレーンで作業が行われていましたが、今回は鉄骨を縦に吊り上げるため、さらに大きな50トンの資材を吊り上げることができるクレーンにより作業が進められています。

建物は思っていたものよりも大きく、3階建ての新棟の概要が分かるようになりました。

年内から年明けにかけて、引き続き鉄骨工事が行われます。

1月の工事予定

基礎・新棟の骨組みである鉄骨が組み上がります。その後、鉄骨の外周を足場で囲い、さらに白い防煙シートで覆って、各階の床のコンクリート打設を行います。

なお、打設したコンクリートを1月の寒さから保護するため、打設を行った日は、夜も採暖用のヒーターを稼働させます。「ボー」と音がしますが、監視者を配置し火気の取り扱いに注意しますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

年内は12月30日まで工事をを行い、31日から1月5日までは、工事休止となります。新年は、1月6日から工事を再開します。

